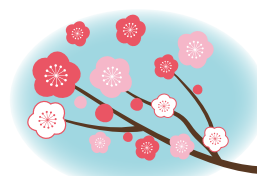


社会福祉法人

出東福祉社会 だより

発行 令和7年3月
社会福祉法人 出東福祉社会
出雲市斐川町三分市1071番地4

2025年 Vol.30



幼保連携型認定こども園

出東こども園



出東デイサービスセンター



グループホーム出東ララ



交流活動広がる

感染症の流行に気をつけながらも、外部の方との交流活動も広がり、幅広い体験をさせて頂いています。

しめ縄づくり・初釜を伝承 出東こども園

しめ縄づくり…令和六年十二月二十六日に、出東地区のボランティアの方に来ていただき、年長児がしめ縄づくりをしました。三つ編みをして作るしめ縄を教えてもらい家庭から持ってきた松葉や千両などを飾って、素敵なしめ縄ができました。

初釜体験：新年一月八日に抹茶同好会の方々に、お手前を見せてもらった後、四・五歳児は、お抹茶をいただきました。普段は元氣いっぱい体を動かして遊んでいる子どもたちも、この時は静かに正座をしていただいていた。「ちよつと苦かったけどおいしかった」「泡の下に緑のお茶があつてきれいだった」と喜んでいました。

地域の方々に支えてもらい、貴重な体験ができることに感謝です。

これからも、日本の伝統文化を伝えていきたいと思っています。



様々なボランティアさんの出し物に拍手喝采

出東デイサービスセンター

ハンドベル演奏の「ミモザ」さんと、「安来節ガールズ」の皆さんをお迎えして心温まるクリスマス会を開催しました。ハンドベルの美しい音色が響き渡り、クリスマスソングや童謡と一緒に歌いました。安来節では、鼓や三味線の独特な節回しが部屋いっぱいに広がり、銭太鼓や華やかな踊りに皆さんの笑顔が溢れたクリスマス会となりました。

ボランティアさん、ありがとうございます。今後も、交流の輪を広げたく、たくさんの方々をお待ちしています。



地域の皆さんも「車椅子体験」

グループホーム出東ララ

昨年の秋の出東地区文化祭には、より多くの方に福祉に関わって頂きたく「車椅子体験」のコーナーを設けました。『止まるときはブレーキをかける』『坂を下りる時は、後ろ向きに下りる』『など安全に車椅子を利用して頂く大切なこと』をお伝えすることが出来ました。また、小学校にもララから講師に出向き、福祉教育をしている成果もあり「やったことある！」「と上手に車椅子を押す姿がとても印象的でした。今後も地域に貢献できるように取り組みを考えていきたいと思っています。



役職員視察研修

「社会福祉法人やまゆり」へ

近年、どこも同じ悩みである、人材確保や稼働率に関して、様々な対応策を行っておられる「社会福祉法人やまゆり」を視察先として研修しました。「やまゆり」は、デイサービスセンター・グループホーム等たくさんある老人関係の施設を運営されている佐田町にある唯一の社会福祉法人です。七月から三回に渡って伺いました。資金収支バランスや人材確保・育成・定着等の経営面、また、利用者の満足度を高める運営方法等の具体的な対策を聞くことができました。「やまゆり」の理事長さんの経営改善の考え方についての思いを聞くことが出来、そしてたくさん質問にも答えて頂き、大変参考になりました。その後、グループホームなどの現場視察を行い、双方の役員で活発に意見交換もしました。この研修での学びを出東福祉社会に是非かしていきたいと思います。



防犯・防災訓練を実施

出東こども園
出東デイサービスセンター
グループホーム出東ララ

令和六年九月二十六日に出東こども園の四・五歳児は、出雲警察署安全センター等の方々による防犯教室を受けました。防犯標語「いかのおすし」の話を真剣に聞く子どもたちでした。

そして職員も、令和六年六月に、法人役員より危機管理研修を、十一月には、斐川交番の方より防犯講習を受けました。

子どもたちの安全・安心を守る方法や心構えを学ぶとともに、小さい頃から自分の身は自分で守る防犯意識を、いろいろな場面で伝えていくことが大切だと再確認しました。

出東デイサービスセンターとグループホーム出東ララでは、作成したBCP（事業継続計画）をより使いやすいものにするため、研修や避難訓練を行っています。

実践後の振り返りの職員会では、「いつどのような状況になるかわからないという事を常に頭に置き普段から職員同士が連携をとっていききたい。」「避難経路に草や木が植えてあり移動しづらい所もあった。日頃から気に掛けることが大事。職員全員で意識していきたい。」「災害時や感染症流行時に、いかに業務を継続していくのかを全職員で確認したい、意思統一を図ることが重要だと感じた。」等の感想があり、より良いチームワークづくりが災害を乗り切る力となるのではと感じています。

こども園も毎月、全園児全職員で地震・火災・原子力等の災害を想定して避難訓練を行っており、BCPもほぼ出来上がっています。今後も、研修や訓練を重ねて、より実践的なものにしていきたいと思っています。



エプロンの広場

グループホーム出東ララ

炊き込みご飯

【材料 大人5人分】

- 米……………2合
- 鶏肉(もも)…100g
- 人参………1/4本
- しいたけ………2枚
- 油揚げ…1枚
- ごぼう………10cm
- (A) ● 砂糖…小さじ2
- 醤油・みりん…各大さじ2
- 塩………小さじ1/2
- だしの素………小さじ1

● 水…適量

【作り方】

- ①下ごしらえをする。鶏肉は細かく切る。油揚げ、人参、しいたけ、ごぼう…5mm四方に切る。
- ②水加減をする。釜に米を入れ、3合の線まで(高齢者向き)水を入れる。(水加減は各家庭のお好みで)
- ③味付けをする。(A)の調味料を全て入れる。
- ④鶏肉、人参、しいたけ、油揚げ、ごぼうを入れる。
- ⑤炊飯のスイッチを入れる。炊き上がったら、ご飯を混ぜる。

グループホーム出東ララでは、定番の人気メニューです。「今日はそけめしかね!ごつつおだねえ!」と楽しみにしておられます。ごぼうを入れると香りがよく大変喜ばれます。

具材は細かく刻み、消化に良い調理を心がけています。これからも、利用者さんの心も体も元気になるような食事作りを目指していきたいと思っています。

編集後記

○:今回は、当福祉会の特徴「交流」が主なテーマ。長いコロナ禍を経て、昨年暮れからボランティアの皆さんとの交流が再開しました。皆さんの温かい心にいつも感謝しきりです。

と、ところで、昨年は、能登大地震、羽田空港の飛行機事故…と、ダークな滑り出し。今年は巳年。

脱皮、再スタート、金運に上がる白へびといわれるなどいいことありそう。一年でしようか。私は世の中の生き物でへびが一番嫌い!皆さんはいかがですか?残る期間、我慢して巳年とお付き合います。ボランティア(裕)